

「誇り高き仕事の第一線で」

大東消防署消防課 救急隊

消防副士長 奥 幸太（平成28年入職）

「あの時のような救急隊になりたい」

私が、消防士を志した理由は、父が救急搬送された際に来てくれた救急隊がかっこ良く、父を安心させるだけではなく、近くに居た私も安心できるような活動をされており、とても安心したことを鮮明に覚えています。そして私も将来は人々に安心を与えられるような救急隊になりたい！と思ったのがきっかけです。

消防職員として一生涯仕事をするのであれば、生まれ育った町で働きたいと思い大東四條畷消防本部を受験しました。



「傷病者の気持ちに寄り添える救急隊へ」

私は、救急救命士の専門学校を卒業後、大東四條畷消防本部に採用され、現在憧れであった救急隊に配属されています。救急隊の主な業務は突然の病気や交通事故で負傷した傷病者の元へ駆け付け、観察、処置を行い適切な病院へ搬送することです。

救急隊に配属された当初は、体力的につらい時や、傷病者の救命に至らず無力感を感じることもありましたが、それでも救急活動の中で「ありがとう」や「救急隊員のおかげで助かりました」という傷病者や家族の方々の言葉に救われることもありました。

そして、どれだけつらい時でも相談に乗って下さり、訓練に付き合っ下さる先輩方のおかげで「傷病者や同乗者の目



線に立ち、寄り添うことのできる救急隊でありたい」という私の救急活動を行う上での心構えも、徐々に履行できるようになってきたのではないかと思います。

「誰よりも強い気持ちで挑んでほしい」

みなさんが消防士を志すことは本当に素晴らしいことだと思います。私自身この仕事をしていて、「これほどに誇り高い仕事はない」と思っています。

消防職員採用試験は競争率が高く、難しい試験になるかと思いますが、これまで努力してきたことを信じて、誰よりも強い気持ちを持って臨んでほしいです。試験までの残り少ない期間をどう努力するか、そして試験の際は「誰よりも努力してきたんだ」という熱い気持ちで臨んでほしいです。そして、採用された際には、大東市四條畷市民の安心、安全を共に守って行きましょう。

